

# テクニカルコミュニケーション アワードジャパン

## 2026

募集案内



動画のマニュアルは？  
製品組み込みのヘルプは？

もちろん、大丈夫です！

応募をお待ちしています。

別冊のQ&A も併せてご覧ください！

## Technical Communication Awards Japan

募集期間／2026年3月2日(月)～2026年5月18日(月)

主催：一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

運営：アワード2026実行委員会

後援：消費者庁および国民生活センター(予定)

## > 開催趣旨

「テクニカルコミュニケーションアワードジャパン」は一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会(以下、「TC協会」または「JTCA」)が主催する、使用情報を評価・表彰するための日本で唯一のイベントです。「使い方をわかりやすく伝えたい」という、情報制作に携わる人々の思いがこのテクニカルコミュニケーションアワードを支えています。

---

JTCAでは、従来から実施してまいりました「ジャパンマニュアルアワード」を「テクニカルコミュニケーションアワードジャパン」と改称することにしました。

製品やサービスの使い方を説明する情報につきましては、伝える媒体や配信方法の多様化が進み、「マニュアル(取扱説明書)」という特定コンテンツに限定しているかのようなイベント名称では、時代に合わなくなってきました。そこで、動画・製品組み込みのヘルプ・パッケージ上の記載・アプリなど、一見マニュアルに見えないコンテンツでも、「利用者用情報」(用語の定義は、その他の章に記載)であれば、全て審査対象(応募対象)であることを明確にする主旨で、イベント名称を変更することにしました。

なお、名称変更は従来からの審査対象を変更するものではありません。今までご応募くださった皆様だけでなく、応募対象にならないと思っておられた皆様も奮って応募くださることを、実行委員一同、願っております。

## > 審査

アワード実行委員会による1次審査と2次審査、有識者による3次審査と最終審査、大学生による学生審査を行います。

---

応募情報へは1次審査の評価コメントをフィードバックいたします。情報の品質向上にご活用ください。

## > 審査結果

受賞作品は「テクニカルコミュニケーションシンポジウム20265」(以下、「TCシンポジウム20265」)京都開催の会場で表彰、受賞理由とともに展示します。また、TC協会ウェブサイトで公表の予定です。

---

昨年度の詳細は、「テクニカルコミュニケーションアワードジャパン」のウェブサイトでご覧になれます。

(<https://jtca.org/award/award-archive/>)

## > 賞

名称	対象	表彰
ベストオブ TC	ベストオブ TC ノミネート賞の作品	賞状、盾、トロフィー
ベストオブ TC ノミネート賞	受賞作品	賞状
優秀賞	応募作品の全て	賞状、盾
特別賞	応募作品の全て	賞状、盾
学生賞	一般部門で 2 次審査を通過した作品のうち、 コンシューマー向けの情報	賞状、盾

受賞作品の中から部門を問わず最も優れた3~5作品を、ベストオブ TC マニュアル オブ ザ イヤーの候補として選定するとともに「ベストオブ TC、ノミネート賞」として表彰します。

過去にはそのほか、デザイン賞、高齢者にやさしくしま賞、マニュアルをケータイしま賞、私も乗れそうで賞、などが個別に表彰されました。

20265 年も同様に、優れたところがあれば、全ての応募作品を対象に特別賞を選出します。

賞の名称は、内容にふさわしいものを実行委員会で決めます。

### 「TCA (Technical Communication Awards Japan)」 ロゴの使用権を付与

テクニカルコミュニケーションアワードジャパンで入賞すると、「TCA」ロゴをお使いになれます。

「TCA」ロゴは、入賞作品はもちろん、該当製品のカタログ、ウェブサイトなどメディアを問わずに表示できますので、「使い方がわかりやすい」とお客様に訴求できます。

## 1 > 応募資格

以下の応募対象の制作にかかわる企業もしくは個人とします。

## 2 > 応募対象

「2026年5月時点で販売されている商品（製品または特定のサービス）に関する日本語の利用者用情報に含まれるコンテンツ」を対象に

します。製品と同時に提供されるすべての利用者用情報が審査対象になりますが、すべての提出物を応募することが難しい場合は、部分的な応募でも対応いたします。

販売開始時期は問いません。例えば10年前に販売開始した製品でも構いません。

※ 日本語であれば、制作および印刷した国や地域は問いません。

※ 過去に応募したマニュアルは除きます。

### 対象媒体

- ・紙（冊子、シート、印刷前提のPDF）
- ・電子（PCやスマートデバイスなどの画面で見る（HTML、PDF、動画\*、アプリ）  
\*ディスクまたはQRコードなどで誘導して見られる動画を含む
- ・製品組込

### チュートリアルも対象です。条件は以下の通りです。

- ・特定の製品またはサービスを対象としていること。
- ・指導者の存在を前提としない、自己学習用を対象とする。  
指導者などによる説明を前提としているものは「教科書」であり、対象外とします。

QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商法です

## 3 > 部門

以下の3部門で募集します。

### 1 一般部門

● **家庭、日常生活で使う製品またはサービスの利用者用情報**

一般ユーザーが読者であること想定している

<具体例>

- ・トイレの使い方
- ・家電製品の使い方
- ・DIY家具の組み立て方
- ・オーディオ機器の使い方
- ・家庭用コーヒーメーカーの使い方
- ・家庭用Wi-Fiルーターの使い方

### 2 業務部門

● **オフィス・店舗・公共施設・学校・屋外イベントなどで使う製品またはサービスの利用者用情報**

家庭で使う製品またはサービスの**施工・設置・メンテナンスの業務も含む。**

経験値が求められ、専門的な知識やスキルを持った人が読者であることを想定している

<具体例>

- ・トイレの施工方法
- ・浴室の施工、設置の方法
- ・複合機の導入、設置の方法
- ・業務用コーヒーメーカーの使い方
- ・業務用Wi-Fiルーターの使い方
- ・業務用生ごみ処理機の使い方

### 3 産業部門

● **製造現場、研究所など労働安全衛生法の影響下で使う製品またはサービスの利用者用情報**

専門的な知識やスキルを持ったユーザーが使用することを想定している  
その製品やサービスを使うための訓練や資格が必要なもの

<具体例>

- ・トイレを作るための機械の使い方
- ・コーヒーメーカーを作るための機械の使い方
- ・製造ラインで利用される工作機械の使い方
- ・計測機器の使い方
- ・生ごみ処理機を作る機械の使い方

※具体例に限らず、幅広いジャンルの製品またはサービスの利用者用情報をご応募いただけます。

※応募内容を受領確認後、内容に応じて審査側で適切な部門に振り分けることがあります。

## 1 > 提出物

1 件の応募につき、以下を提出してください。

● 応募用紙一式	電子ファイル (PDF)	ファイルをメール送付	(必須)
● 審査対象情報	印刷物の場合	郵送で 5 部 *1	(必須)
	HTML・動画の場合	参照先 URL を応募用紙に記入 *2	(必須)
	製品組み込みの場合	製品 1 点	(必須)
● 審査員が製品・サービスを理解するための情報	印刷物の場合	郵送で 5 部 *2	(任意)
	HTML・動画の場合	参照先 URL を応募用紙に記入 *2	(必須)
● 製品実機		郵送で 1 台 *3	(推奨)

\*1 郵送が 5 部用意できない場合は別途ご相談ください。

\*2 一般公開していない場合は別途ご相談ください。

\*3 郵送が難しい場合は、審査委員による訪問審査をご検討ください。

- ・詳しくは応募用紙をご確認ください。
- ・提出物は原則として返却しません。ただし製品ならびにその梱包に付随するものは返却します。

### 製品実機を含め全ての情報審査の推奨

アワード実行委員会では、製品実機を含めた応募、および関連するすべてのマニュアル (使用情報) の応募を推奨いたします。審査委員が使用環境に近づくことで、より適切に評価できます。

製品実機については、TC協会宛に送付いただくか、審査委員の訪問による審査をご依頼ください。送付可能な場合でも、評価対象の製品・サービスが他機器との接続などシステムに組み込まれている場合、システムをご準備いただいた上で、訪問審査をご依頼ください。

詳しくは応募用紙をご確認ください。

なお、日程や応募内容によっては訪問のご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 2 > 提出先

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-34-2 第一後藤ビル101 号室

一般財団法人 テクニカルコミュニケーター協会 アワード2026 実行委員会

TEL: 03-3368-4607

E メールアドレス: tc-awards-jim@jtca.org

## 3＞応募の締め切り

2026年5月18日(月) 必着

## 4＞応募費

応募作品 1 件につき

TC 協会会員: 40,000 円(非課税) 非会員: 88,000 円(消費税込)

応募受付後、請求書を発行しますので、所定の口座に 30 日以内にお振り込みください。

振込料は各自にてご負担ください。

- ・実行委員会は、特殊な分野の製品マニュアルなど、「審査が困難である」と判断した場合は、応募をお断りすることがあります。その際、払込み済みの応募費はお返します。
- ・著作権を代表する者以外の方が応募する場合、事前に著作権者に承諾を得てください。実行委員会は、応募をもってこの条件は満たしているものとみなします。
- ・受賞した際には、展示用に製品ならびに製品添付版のマニュアルを追加で2部ご用意いただきます。
- ・TC 協会は、受賞作品を応募者の許可なく、出典を明示して出版物などに使うことがあります。また、表彰式や最終審査会(プレゼンテーション含む)の写真、動画(ビデオなど)を、出版物およびウェブ上に使うことがあります。

審査は1次審査、2次審査、3次審査、最終審査および学生審査に分けて行います。

### 審査基準

TC協会が制定(国際規格に準拠)した審査基準で行います。

### 1次審査

応募作を複数のアワード実行委員が審査します。

### 2次審査

1次審査のアワード実行委員の審査結果を踏まえ、全応募作品を議論しながら審査します。  
審査の過程で一定の基準をクリアした作品の中から、各賞の候補を選びます。

### 学生審査

2次審査の受賞候補の中から、コンシューマー向け製品のマニュアルを対象として、テクニカルコミュニケーションに関する研究をしている大学生が審査します。

### 3次審査 (各賞選考)

テクニカルコミュニケーションの有識者(選考委員)が審査します。

2次審査で選ばれた各賞の候補は、選考委員が審査して承認します。また、選考委員による特別賞が与えられることもあります。

各賞の承認を得たマニュアルの中から、部門を問わず最も優れた3~5作品をベストオブTCノミネートとして選定します。

### 最終審査 (ベストオブTC選考)

ベストオブTCは、TCシンポジウム20265京都開催の会場におけるプレゼンテーションを経て、選考委員により決定されます。

## 選考委員(3次審査・ベストオブTC)

2025年の選考委員は下記の通りです(敬称略、五十音順、肩書は2025年当時):

安藤 昌也	千葉工業大学 先進工学部 教授
大村 宏之	一般社団法人 日本食品機械工業会 事業部 部長
河村 真紀子	主婦連合会 会長
黒田 園子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 消費生活アドバイザー
島田 能里子	一般財団法人 テクニカルコミュニケーター協会 評議員
鈴木 弘彦	独立行政法人 国民生活センター 総務部 管理室 室長
徳田 直樹	一般財団法人 テクニカルコミュニケーター協会 副評議員長
綿井 雅康	一般財団法人 テクニカルコミュニケーター協会 会長 十文字学園女子大学 副学長



## > 結果

- ・応募者へは、評価点数とコメントをフィードバックします。
- ・受賞作品は、「TC シンポジウム2026 京都開催」会場で表彰、受賞理由とともに展示します。  
また、TC協会ウェブサイトで公表の予定です。
- ・イベントの結果報告は、「テクニカルコミュニケーションアワードジャパン」のウェブサイトに掲載します。  
(<https://jtca.org/award/>)

## > スケジュール

3月2日（月）	募集開始
5月18日（月）	募集締切
5月～8月上旬	1次審査、2次審査、学生審査、3次審査
8月上旬	応募者への結果の通知
8月上旬	各賞の発表（TC協会ホームページの該当サイト）
8月下旬	コミュニケーションデザインシンポジウムで、ベストオブTCノミネート作品の発表
10月上旬	TCシンポジウム2025 京都開催で、各賞の表彰、ベストオブTCのノミネート作品のプレゼンテーション、最終審査による選考、表彰、ならびに受賞作品の展示

## > 個人情報の取り扱いについて

TC協会のウェブサイトに記載のプライバシーポリシーに従います。  
(<https://jtca.org/privacy-policy-2/>)

## テクニカルコミュニケーションアワードジャパンの沿革

- 1991 : 第1回日本マニュアルコンテスト。主催 STC 東京支部。
- 1992.1 : 任意団体テクニカルコミュニケーター協会（TC 協会）設立。
- 1997 : 日本マニュアルコンテスト TC 協会と STC 東京支部の共同開催になる。
- 2000 : 日本マニュアルコンテスト、TC 協会の単独主催になる。
- 2012.8 : 使用説明の国際規格 IEC 82079-1、ISO および IEC から発行。
- 2014 : 評価基準として IEC82079-1 : 2012 で規定されている記載要件を取り込む。
- 2014.5 : 日本マニュアルコンテスト 2014 から経済産業省の後援認定行事となる。
- 2015.4 : 日本マニュアルコンテスト 2015 から消費者庁および国民生活センターの後援認定行事となる。
- 2019.2 : 名称をジャパンマニュアルアワードに一新。
- 2019.5 : 使用情報の国際規格 IEC/IEEE 82079-1 Edition2.0 : 2019 が ISO、IEC および IEEE から発行。
- 2022.10 : 過去の受賞作品（1999 年～ 2019 年）を TC シンポジウム 2022 京都開催で展示。
- 2023.10 : 「あなたのマニュアルオブザイヤーはどれ？」（2012 年～ 2022 年の MOY 候補作品 31 点が対象）の名称で TC シンポジウム 2023 京都開催で投票イベントを実施。
- 2026.1 : 名称をテクニカルコミュニケーションアワードジャパンに一新。

### 利用者用情報とは

利用者用情報とは、印刷物としての説明書およびデジタル情報の総称です。利用者が安全に、効果的に、かつ効率的に利用するための概念、手順、参照情報を提供する情報です。利用者用情報は供給者によってつくられ、製品の一部として利用者に提供されます。印刷された説明書だけでなく、画面上の情報、ソフトウェアの一部として組み込まれている情報を含みます。さらに、画面上の利用者用情報においては、利用者が作成したコンテンツを取り込んだり、利用者が二次加工して利用したりすることも想定します。

利用者用情報は、紙、製品に貼られたラベルや銘板、製品の包装、Webサイト、アプリ、ソフトウェアに組み込まれた状態など、さまざまな媒体や場所で提供されます。カタログに掲載されることもありますが、同じカタログに掲載される価格情報、および購買意欲を促すための販促情報は利用者用情報には含まれません。

利用者用情報（の作成コスト）は製品の一部として製造原価を構成しますが、価格情報と販促情報（の作成コスト）は製造原価に含めることはできないからです。

なお、JTCAが2018年から製品・サポート情報と呼んできたものは利用者用情報と同じです。2024年の日本産業規格化を契機として、JTCAは利用者用情報に順次統一します。

利用者用情報： JIS X 0153:2024 (ISO/IEC/IEEE 26514:2022)

『システム及びソフトウェア技術—利用者用情報の設計及び作成』

『製品・サポート情報のつたえかた：コンプライアンスと校閲編』

[https://jtca.org/learn-tc/publication/guide\\_dr\\_cp/](https://jtca.org/learn-tc/publication/guide_dr_cp/)

関連法令 : 製造物責任法(PL法)、薬機法、改正個人情報保護法、労働安全衛生法、サイバーセキュリティ基本法、デジタルプラットフォーム取引透明化法、AI法、景品表示法など

## 「テクニカルコミュニケーションアワードジャパン 2026」の お問い合わせは

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-34-2 第一後藤ビル 101 号室

一般財団法人 テクニカルコミュニケーター協会

アワード 2026 実行委員会

TEL：03-3368-4607 FAX：03-3368-5087

E メールアドレス：tc-awards-jim@jtca.org

主催：一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

運営：テクニカルコミュニケーションアワードジャパン2026 実行委員会

後援：消費者庁および国民生活センター（予定）